

施策・基本事業評価表

優先度：成果＝中。財源＝低。●都市対策課、道路・水路課

番号	施策名	施策の対象	施策のねらい	区分	施策の成果指標	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
1-4	秩序ある市域の整備	・市民 ・筑後市全域	乱開発されず、秩序ある市域が構成され、市全体が調和の取れた発展をしている。	成果	住宅、商業、農地、工場、公園などが計画的に開発・配置されている(乱開発されていない)と思う市民の割合(%)	44.4	44.8	42.7	52.5	48.1	51.4	47.5	↑	50.6	54.6	55.3	↑	目標達成	計画的に開発・配置された土地利用がされている割合は、僅かながら改善し、平成23年度以降は上昇している。主要要因としては、新幹線や八女インター線等の整備効果や、ホークスファーム本拠地の誘致効果が指標向上に繋がっていると思慮される。	現在整備中である北部拠点施設やホークスファーム本拠地を活用し、地域と一体となったまちづくりに取り組むことで、さらなる指標向上を目指す。

番号	基本事業名称	基本事業の対象	基本事業のねらい	区分	基本事業の成果指標	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	前期 目標値	24年度	25年度	26年度	28年度 (目標)	評価	評価の判定理由と原因分析の説明	今後の取り組み等
01	計画的な土地利用と市街地整備の推進	・市民 ・筑後市全域	・土地利用を環境変化にあわせ変更し、用途にあった開発がされている。 ・農業振興地域内の無秩序な宅地開発を規制し、優良農地が保全されている。	成果	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合(%)	30.6	25.5	32.9	30.1	32.3	33.8	33.8	35.0	30.6	24.4	33.1	35.0	横ばい	昨年度において6ポイント程度減少したものの、今年度については9ポイント程度の回復が見られた。用途地域内の建築申請件数は、羽犬塚・前津・長浜地区が38%を占めており、国道442号線及び八女インター線の整備の影響と推測される。	建築需要については、国の景気対策等による経済状況に影響を受けやすいが、今後も都市環境の変化を注視しつつ、調和のとれた誘導を行っている。
				成果	都市計画用途地域内農地率(%)	22.8	22.3	22.0	21.9	21.7	21.4	20.7	20.0	20.3	19.9	19.4	20.5	目標達成	用途地域内の建築申請件数に表れているとおり、順調に用途地域内の農地は毎年減少している。	筑後市の特徴である交通の利便性を活かしながら、今後も適正な規制と誘導を実施していく。
				成果	優良農地率(%)	79.0	79.0	79.3	79.6	80.2	80.2	80.3	80.0	80.3	80.5	80.7	78.9	目標達成	過去6年間に於いて目標値を保っており、農業振興地域内の優良農地は概ね保全されている。	農地法による優良農地の確保を順守しつつ、環境変化に伴う地域の土地利用の検討を行い、調和のとれたまちづくりを目指す。
02	公園の整備・維持管理	・市民 ・公園	・公園の効果的整備により、市民が安らげる公園施設が充足している。 ・市民協働での維持管理が充実することで、公園が安全に利用できる。	成果	市民1人あたり公園面積(m ² /人)	6.3	6.3	6.3	6.4	6.4	7.4	12.1	8.0	12.0	12.4	12.8	11	目標達成	市が管理している公園の供用面積に変更はないが、県営筑後広域公園は、リサイクル施設の開設に伴い、供用面積が増加した。人口は若干減少はしているが、市民1人当たりの公園面積は微増した。	市民の憩いの場である公園は、都市防災機能としても重要な役割を持ち、継続的な維持管理を行うことで良好な環境を保全する必要がある。市民一人当たりの公園面積は、市としては新規に公園を整備する計画は無いが、県営筑後広域公園は少しずつではあるが供用面積は増加する傾向にある。
				成果	公園の量・施設に満足している市民の割合(%)	74.5	73.8	74.5	78.0	79.4	79.6	76.6	↑	79.1	77.0	82.0	↑	目標達成	県営筑後広域公園は、毎年少しずつではあるが整備されており、近隣の市町村に比べて公園面積の割合は高いため、満足している割合は82%と目標値を超えている。しかし18%は、不満であるとの意見があり、「子供達の遊び場がない」、「家の近くに遊べる公園が無い」といった意見も上がっている。	市民からは、「整備がされていない」、「管理がされていない」といった意見も上がってきているので、今後は、樹木、遊具等の維持管理を強化していきたい。
				成果	市民協働で管理されている公園数(力所)	3	4	6	8	8	8	8	6	10	10	10	8	目標達成	市が管理している公園20箇所のうち、6箇所を地元と委託契約等により、清掃をお願いしている。また、4箇所の公園においては、環境パートナー制度の登録をしていただいている。(一部重複している公園あり)	地元との清掃管理委託については、今後も密な連絡と意見交換を行い、継続に努めていく。また、環境パートナーについては、一年単位の更新なので、継続して活動していただけるように働きかける。更には、新規団体の加入促進に努める。
03	バリアフリーの推進	・高齢者・身体障害者等	公共施設等のバリアフリー化に努め、高齢者や身体障害者等にとって生活しやすいまちになっている。	成果	歩道の点字ブロック設置総延長(km)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	5.0	5.5	5.0	6.3	6.3	6.3	6.0	目標達成	市街地における主要な道路で、一定の幅員を有する歩道については、概ね点字誘導ブロックの設置が完了している。	今後は、交差点改良や歩道拡幅等の工事を行う際には、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律及び福岡県福祉のまちづくり条例に基づき整備を行う。
				成果	公共施設バリアフリー化率(%)	65.2	65.3	66.3	67.5	68.1	68.3	72.0	75.0	72.8	72.8	73.0	70.0	目標達成	施設の改修工事においては、長寿命的な維持管理を目的としており、バリアフリー化への改修については、既存施設の構造的なものもあり、施設の新設及び建替え時に整備を行っている。	福祉のまちづくり条例に基づき整備を行う